

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価 担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育資金支援事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	成績優秀かつ向学心あふ盛な生徒であって、経済的理由のため進学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等に入学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付け、教育の機会均等に努める。また、大学等へ進学した者の保護者で、入学資金融資制度を利用した者に対し、利子補給を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。				
29年度概要	奨学金の支給 入学準備金の貸付 大学等教育資金利子補給				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	経済的理由のため進学困難な者 奨学金支給制度対象生徒数 = 各学校長の推薦した者 (新規決定者数)
意図（どのような状態にしたいか）	就学を希望する者が経済的理由で、その機会を失うことがないように就学の機会を与える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
奨学金支給人数	人			279	190	190

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 就学者の経済的負担が軽減され、境域環境の充実に結びつき、目標とおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	30,112	34,936	36,360	34,460
（事業費）	[円]	26,421	31,097	32,434	30,534
（職員人件費）	[円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 経済的理由で就学に支障がある生徒に対する助成は必要であり、十分な周知を行いながら継続する。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 例年広報誌やHP、学校を通じて制度の周知に努めているが、例年、期限後の問い合わせがあることから、より一層の周知徹底をはかるようにしたい。			